

令和元年7月30日
道路局国道・技術課橋梁などの新しい点検技術を公募します
～近接目視によらない点検手法の開発に向けて～

国土交通省では、点検支援技術を活用した効率的な道路施設の定期点検が可能となるよう平成31年2月に定期点検要領を改定するとともに、点検に活用可能な16技術を「点検支援技術性能カタログ(案)」として整理しました。

点検技術者が道路施設の健全性の診断を行う際には、近接目視を基本とした状態の把握が必要ですが、定期点検の更なる合理化を進めるためには近接目視によらない点検・診断方法による点検手法のベストミックスが求められています。

そこで、今般、道路施設を構成する部材等において、耐荷力や損傷の進展状況等を直接計測し、近接目視を実施せずに健全性の診断が可能となる「計測・モニタリング技術」を公募し、技術検証を実施することとしましたので、お知らせします。検証を経た技術については、カタログへの掲載を目指します。

公募期間 令和元年7月30日(火)～8月30日(金)

- 公募内容**
- ①ニーズ型（ニーズを提示し、技術を公募する）
 - ・PC上部構造や吊材の状態のモニタリング
 - ・支承の機能障害のモニタリング
 - ・橋梁基礎の洗掘のモニタリング
 - ・トンネル付属物の変状を計測・モニタリングする技術
 - ②シーズマッチング型（テーマを指定せず、要素技術を求めるもの）
 - ・点検の合理化が期待される計測・モニタリング

今後の予定 国等と定期的に意見交換会を実施し、順次技術を検証
※学識者の意見聴取を踏まえ、検証できたものからカタログへ掲載

その他 点検支援技術に関する窓口※を道路局、地方整備局道路部等に設置し、問合せ・相談等をワンストップ化
※定期点検業務での技術活用、カタログ掲載技術の更新等に対応

<お問い合わせ先> 道路局国道・技術課 課長補佐 大場、橋梁係長 佐々部
代表：03-5253-8111（内線 37862、37863）
直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620